

とくしまの魅力と実力



副議長賞「眠れない夜の空」



優秀賞「見方が変われば世界は変わる」

第2回徳島県議会 高校生フotコンテスト 入賞作品



優秀賞「黄昏」



議長賞「紫陽花と汽車」



優秀賞「秋空」



優秀賞「私の大好きな景色」



優秀賞「徳島の花」

令和 7 年 3 月
徳 島 県 議 会

とくしまの魅力と実力

「災害時」と「平時」リバーシブルに活用

令和5年9月にオープンした東部防災館おきのすインドアパークは、災害時には防災拠点、平時にはにぎわい拠点として機能します。様々なスポーツ施設やイベントスペースなどを備えるとともに、屋上ヘリポートなどは災害時の物資運送拠点として運用されます。



おきのすインドア
パーク



持続可能で競争力のある農林水産業へ

拡大する世界の食市場をターゲットに、県産品の生産・流通体制の整備を促進するとともに、ブランド確立のため、各地でプロモーションを行っています。林業分野では、「とくしま木のおもちゃ美術館」の運営により、木材の良さや木材利用の意義を知ってもらう「木育」を推進しています。



木のおもちゃ
美術館



徳島ならではの公共交通ネットワーク

世界初となる本格営業運行を行っている車体を変換させ、道路と線路の両方をシームレスに走ることができるDMVや、鉄道とバスの共同経営による乗り継ぎネットワークの構築をはじめとするモーダルミックスの推進など、交通の次世代モデルを構築しています。



DMV



スポーツ王国とくしま

サッカー、野球、バスケットボールの地元プロスポーツをはじめ、全国からランナーが集まる「とくしまマラソン」、ラフティングやサーフィンなどのウォータースポーツ、豊かな自然を体感できるサイクリングなど、「観て」「参加して」「楽しめる」スポーツが盛りだくさんです。



ラフティング



特色と魅力ある教育環境

「誰一人取り残されない教育」を目指す全国初の県立夜間中学校である「徳島県立しらさぎ中学校」や、地方と都市の2つの学校の行き来を容易にし、双方で教育を受けることができる新しい学校のかたちである「デュアルスクール」など、多様な学びの場があります。



しらさぎ中学校



救急医療体制の充実

令和5年5月にオープンした県立中央病院南館（ER棟）は、救急・感染症外来をはじめ、発災時には災害対策本部などの役割を担うほか、5G通信環境を活用した先進的な遠隔医療による地域医療支援機能など、複合的な機能を備えています。



県立中央病院
南館（ER棟）



詳しくはこちら

・徳島県ホームページ

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/>



・徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」

<https://www.awanavi.jp/>



【まだまだあるとくしまの魅力と実力！】



長年の伝統が息づく
阿波おどりや阿波人形
浄瑠璃、さらに、ベ
ートヴェン「第九」ア
ジア初演など、優れた
文化・歴史があります。

400年以上の歴史
阿波おどり



四国三郎とも呼ばれる
吉野川や西部の秘境祖谷
や剣山、南部沿岸部の千
年サンゴやサーフスポ
ットなど、豊かな自然環
境に恵まれています。

迫力満点！**鳴門の渦潮**

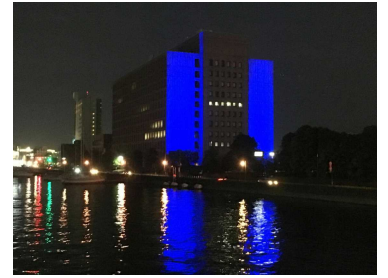
自然条件を活かし特
色ある農林水産業が
盛んな食材の宝庫。
西部には傾斜地のまま
農耕を行う世界的に
も珍しい伝統農法が
あります。



世界農業遺産**にし阿波の
傾斜地農耕システム**

全国屈指の情報通信網
に加え、LEDや次世代
の光の活用による新産
業の創出やバッテリー
バレイ構想の実現によ
り、経済成長を目指し
ています。

LED といえば徳島、
次世代の光も徳島



阿波藍



美しい藍色を染め出す天然藍染料「阿波藍」は、江戸時代からずっと日本の
藍染め「ジャパンプルー」を支えてきました。かつて阿波藍がもたらした豊かさ
が多彩な「あわ文化」を育んだと言われており、今国内の天然藍染料の大半
が徳島で製造されています。

令和元年5月20日には、阿波藍の歴史・文化的なストーリーが日本遺産に
認定されました。

徳島県議会においても、議員提案により「とくしま藍の日及び徳島県の色を定める
条例」を制定し、7月24日を「とくしま藍の日」、7月を「とくしま藍推進月間」、藍色
を「徳島県の色」と定めることにより、藍に対する関心と理解を深め、藍に関する文
化の継承と産業振興を図り、国内外に藍の魅力を発信していきます。



県 勢 概 要

面 積：4,147.00km² (R6. 10. 1)
人 口：719,704人 (R2. 10. 1)
県 庁 所 在 地：徳島市 (人口252,364人 (R2. 10. 1))
市 町 村 数：8市15町1村
県 の 木：やまもも
県 の 鳥：しらさぎ
県 の 花：すだちの花
県 の 色：藍色
最 も 高 い 山：剣山 (標高1,955m＝四国2位)
最 も 大 き い 川：吉野川 (長さ194km＝四国2位、
流域面積3,750km²＝四国1位)



徳島県



キャッチフレーズ



新時代へ
躍り出そう

Sustainable AI Land
TOKUSHIMA

■ ロゴマーク

- ・無限大マークを2つ重ねた「ダブルインフィニティ」
- ・徳島の多様な「アイデンティティ」を表現

■ メインフレーズ

- ・新時代に向けた「徳島の可能性」「挑戦する姿勢」
- ・「阿波おどり」のようなパワーで飛躍

■ サブフレーズ

- ・阿波藍の産地・青色LED発祥の地
- ・本県が目指す「未来に引き継げるサステナブルな徳島」

時代に即応した議会を目指して

“議会改革”推進中

徳島県議会は、「議会は自治体の最高責任者である」との認識の下、県民の負託に全力に応え、これまで進めてきた様々な議会改革の取り組みを後戻りさせることなく、継続して取り組むため、重点的に取り組むべき方策やその具体的数値目標を定めた「議会改革行動計画」を策定し、同計画の趣旨に沿って各種施策を実施しています。

★議会改革行動計画（第4期）〔計画期間：令和5年度～令和8年度〕における主な取組

【誰もが政治参加しやすい環境づくり】

女性、若者、子育て世代など、多様な人材の政治参加を促進するため、誰もが議会活動に参画しやすい環境を整備するとともに、議会を身近に感じてもらえる取組を推進することとした。

- ハラスメント防止研修の実施（令和5年度から実施）
- ハラスメント相談窓口の設置（令和5年10月10日設置）
- 議員の旧姓使用の明文化（令和5年9月4日施行）
- 託児サービスの実施（令和6年6月定例会から開始）
- 県民と議員の意見交換会の実施（令和5年度から実施）
- 中学生県議会セミナー（議員出前授業）の実施（令和6年度から実施）
- 県議会ホームページの充実（令和5年度から随時実施）
- 「県議会だより」のリニューアル（令和6年6月定例会号から実施）

【議会DXのさらなる推進】

自然災害の発災時や感染症まん延時の緊急時などにおいても、円滑に議会を運営するため、ICTの積極的な活用により、さらなる議会DXを推進することとした。

- オンライン委員会の導入（令和6年11月定例会整備）
- オンライン視察・勉強会の実施

【その他の取組】

- 議会日程の実績公開（令和5年度分からホームページに掲載）
- 議会インターネット中継（録画配信）における本会議質問項目の掲載（令和5年6月定例会から掲載）

★第3期（～令和4年度）までに実施した主な取組

【議会機能の強化】

- 議会基本条例の制定
- 県行政に係る基本計画議決条例の制定
- 大学との包括連携協定締結及び事業の実施
- 政務活動費の適正な執行と透明性の確保
- 議員提案政策条例の制定及び検証
- 議会BCPの策定
- 情報通信環境及びタブレット端末の整備
- ペーパーレス会議システムの導入



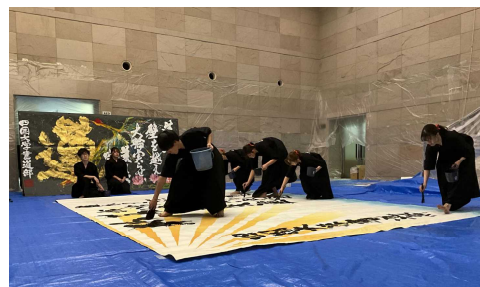
＜ペーパーレス会議システムの導入＞

【効果的な議会運営】

- 議案、委員会記録及び資料、各議員の議案・請願に対する表決態度（賛否状況）のホームページ公表
- 決算認定審査の見直し（議案の早期議決）
- 委員会の県内視察における各種団体等との意見交換会の開催
- 議会の年間日程の作成・公表
- 質問要旨の通告及びホームページ前日掲載

【開かれた議会】

- 正副議長の定例記者会見
- 議会活動展示パネルの設置
- 高校生と県議会議員との意見交換会の実施
- 夏休み中学生県議会体験会、県議会小学生社会見学ツアー、議会見学会の実施
- 徳島県議会表彰の実施
- 議会コンサート、書道パフォーマンスの開催
- パーキングパーミット制度を利用した駐車場の整備
- 点字版議会だよりの発行
- 広報動画の作成



＜書道パフォーマンス＞

表紙写真：第2回徳島県議会高校生フォトコンテスト入賞作品

題字：四国大学文学部書道文化学科学生作品（大学との包括連携協定に基づく事業による）

◆徳島県議会の最新情報はこちら！ <https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>

